

ごみのないまちプロジェクト



[何のために？]

1 ねらいや効果

日常生活から発生する廃棄物等の抑制や再使用・再生利用の推進など、環境への負荷が少ない循環型社会とともに、散乱ごみがなく、きれいな川が流れる美しいまちをめざします。

関連する環境指標 (詳細は資料編参照)

1人1日あたりのごみの排出量、リサイクル率
河川のBOD平均値、生活排水処理率



日進市ごみ減量等啓発用ロゴマーク

2 具体的な進め方

1) 排出されるごみを減らす

	21-25年度	26-30年度
マイバッグ(エコバッグ)の利用	A ●●●●	●●●●
過剰包装を減らす	A ●●●●	●●●●
生ごみのコンポスト化の実践	A ●●●●	●●●●
3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進	A ●●●●	●●●●
資源回収ステーションの活用	A ●●●●	●●●●

2) 排水をきれいにする

	21-25年度	26-30年度
生活雑排水による汚濁負荷を減らす排水手段の実践と普及	A ●●●●	●●●●
合併処理浄化槽への付け替えや公共下水道への接続	A B ●●●●	●●●●

3) ごみのない美しいまちづくりをすすめる

	21-25年度	26-30年度
監視員による不法投棄パトロールを実施する	A B ●●●●	●●●●
各地区ごとによる、河川、道路、公園などの地域清掃活動	A ●●●●	●●●●
ペットの糞害防止対策、規制方法の検討	A B ●●●●	●●●●

□A: 市民主体・行政共働 / □B: 行政主体・市民参加

21-25年度 26-30年度

3

[どこで?] 実施場所

日進市全域

4

[誰が誰と何を?] 取組主体と関係者の役割

取組主体 市民団体（地域自治組織、環境パートナーシップ組織）
 市民
 事業者
 市（水と緑の課、環境課、下水道課）

市（行政）

取組主体への支援
 資源回収ステーションの
 拡充
 規制・条例等の制定
 地域清掃活動への支援
 公共下水道の整備

市民団体

地域活動の実施
 プロジェクトの推進
 プログラム実施への協力

事業者

ごみ削減への配慮
 排水への配慮
 活動への協力

教育機関

専門分野での協力

市民（滞在者等を含む）

ライフスタイルの見直し
 プロジェクトへの参画

市職員

専門分野での支援

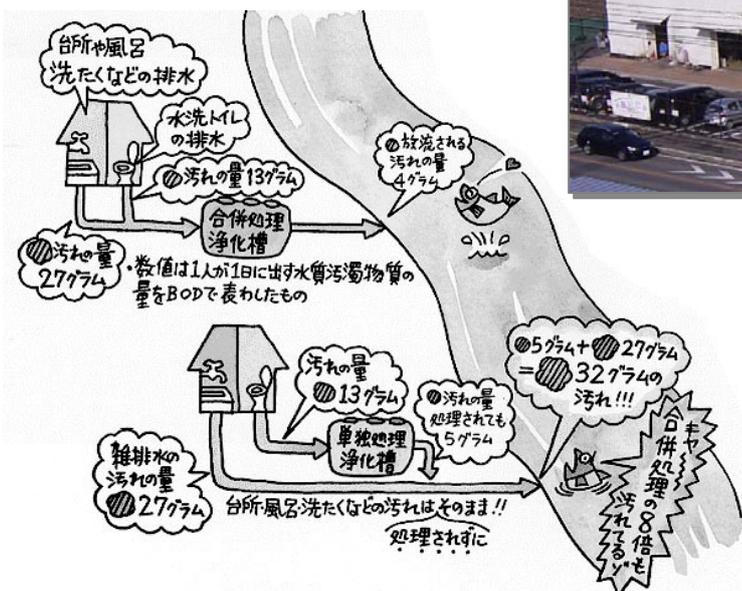
注） ○：取組主体としての役割、 △：関係者としての役割

5

[補足は?] 備考



中央環境センター（エコドーム）



快適な生活と美しい環境を守る合併処理浄化槽
 社団法人全国浄化槽団体連合会